

2025/07/11 (予定) 機能追加

社員から『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者を自動作成する機能を強化 他 1 件

Ver.250630

受給者情報

社員から『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者を自動作成する機能を強化

年末調整申告書

当サービスの社員から、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者を自動で作成する機能（自動連携機能）を強化しました。自動連携する設定になっている場合は、以下の内容をご確認ください。

補足

自動連携する設定とは、[\[年末調整申告書クラウド\]メニュー](#)の連携方法で以下を選択している場合です。
詳細は、ヘルプセンターの「[社員と『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者の連携について](#)」をご参照ください。

- 「OBC i Dの設定内容に従う」（ご利用の製品によって表示されません。）
- 「社用e-Mail1を利用者IDとする」
- 「社員番号を利用者IDとする」

今まで社員が退職した際は、[\[社員情報\]メニュー](#)で在籍区分を「2：退職」にした後に、[\[年末調整申告書クラウド利用者設定\]メニュー](#)で『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用を手動で「無効」にする必要がありました。

今回から、[\[社員情報\]メニュー](#)で在籍区分を「2：退職」にするだけで、自動的に「無効」になります。

これにより、忘れずに退職社員の『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用を停止でき、誤って提出依頼通知などを送ることを防げます。

また、今まで扶養親族を追加した際に続柄が未設定の場合は、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の[\[利用者情報登録\]メニュー](#)に自動で登録されませんでした。今回から、続柄が未設定でも登録されるようになりました。

対応メニュー

[受給者情報 - 社員情報 - 社員情報 - 年末調整申告書クラウド利用者設定]メニュー
『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の[導入処理 - 利用者情報登録]メニュー

その他

セキュリティ強化

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。